

年次報告2023

「もしも」のときに学業継続を支える
CO・OP学生総合共済

大学生の 病気・ケガ・事故

共済金・
保険金
支払状況

学生総合共済
学生賠償責任保険
就学費用保障保険

2023

日本コープ共済生活協同組合連合会
株式会社 大学生協保険サービス

年次報告2023について

分析対象

- ◆学生総合共済における共済金支払いデータ
- ◆学生賠償責任保険と就学費用保障保険における保険金支払いデータ
- ◆学生賠償責任保険 示談交渉サービス利用状況
- ◆学生総合共済加入者及びその保護者から学生生活無料健康相談テレホンに寄せられた相談内容

対象期間

- ◆学生総合共済
期間:2023年3月21日～2024年3月20日
- ◆学生賠償責任保険と就学費用保障保険
学生生活無料健康相談テレホン
期間:2023年4月1日～2024年3月31日

分析目的

共済金や保険金の支払い状況及び学生生活無料健康相談テレホンに寄せられた相談内容の傾向を明らかにし、学生生活でのリスクとそのそなえについて考察を行う。

その他

- ・記載の学年は共済金／保険金請求時またはテレホン相談時の学年です。
- ・金額、割合は表記以下を四捨五入し、合計と一致しない場合があります。

目次

1	大学生協の保障制度 保障内容の概要	P. 2
2	学生の病気の傾向(CO・OP学生総合共済)	P. 3
3	学生のケガと死亡の傾向(CO・OP学生総合共済)	P. 4
4	学生の賠償事故全体の傾向(学生賠償責任保険)	P. 5
5	学生の住まいの賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)	P. 6
6	学生の自転車による賠償事故の傾向(学生賠償責任保険)	P. 7
7	父母・扶養者に関する保障(CO・OP学生総合共済／就学費用保障保険)	P. 8
8	学生生活無料健康相談テレホン(からだの健康相談・こころの健康相談・くらしの相談)	P. 9
9	大学生協の保障制度 支払一覧	P.13
10	加入者数と支払件数の推移	P.14
11	共済金の支払いを受けた学生の声	P.15

1

大学生協の保障制度 保障内容の概要

学生生活を24時間、365日バックアップしています。

学生総合共済の保障内容

※このページに掲載の保障内容は2024年3月時点のものです。
 ・保障内容の説明を省略している箇所があります。
 ・保障内容の詳細は、最新年度の「大学生協版 CO・OP学生総合共済」パンフレットをご参照ください。

CO・OP 学生 総合共済 G1200コース	病気・ケガ	入院 1日から360日分 日額 10,000円
		長期入院 270日以上連続した入院(1回の入院について1回のみ) 60万円
		手術 共済事業規約に定める支払い対象手術を受けた場合 1回の手術につき 50,000円
		学業復帰支援臨時費用 重度後遺障害を負って復学した場合 共済期間(1年)につき1回 100万円
		重度後遺障害 *1 *障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
	ケガ	通院 1日から90日分(固定具保障を含みます) 固定具を装着した場合、10日分の通院があったものとみなします。 日額 2,000円 (固定具保障)1事故につき 定額 20,000円
		事故後遺障害 *障害の程度に応じて金額が変わります 最高 600万円
	こころ	こころの早期対応保障 精神疾患の診療を受けたとき 共済期間(1年)につき1回 10,000円
		本人の死亡
	親扶養者の 死亡	死亡 学生本人が死亡した場合(病気・事故問わず) 100万円
事故死亡 学生本人が事故により死亡した場合(事故日から2年以内) 上記にプラス 50万円		
親扶養者の 死亡	親扶養者死亡・親扶養者重度障害 *2 50万円	
	扶養者事故死亡・扶養者事故重度障害 *2 500万円	

※1 労働者災害補償保険法施行規則の障害等級表の1級、2級、3級の状態。 ※2 労働者災害補償保険法施行規則の障害等級表の1級、2級、3級の②③④の状態。

(学生総合共済加入者全員対象) ストーカー被害見舞金	被共済者が日本国内におけるストーカー被害について警察に届け出をし、被害拡大を予防する対策(鍵交換や引っ越し等)をしている等、所定の条件を満たす場合にお支払いする見舞金です。	共済期間(1年)につき1回のみ 5万円
--------------------------------------	--	----------------------------

＋あわせておすすめする保険＋

学生賠償責任保険 一人暮らし特約なし 19H <引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社(幹事)>	●個人賠償責任保障 日常生活での他人に対する賠償責任を保障(国内・国外) (正課の講義・アルバイト・インターンシップ等を含む)	1事故 最高 3億円まで ※情報機器等の記録情報の事故は500万円を限度とします。 ※示談交渉サービス付(国内のみ)
	●正課の講義等での「人格権侵害賠償責任保障」「感染事故損害防止費用保障」	年間最高 それぞれ 500万円まで
	●傷害見舞費用保障 (右記は死亡見舞費用保険金の場合であり、費用の種類によって金額は異なります。ただし1事故最高100万円までとなります。)	被害者1名につき最高 50万円まで
	●後遺障害保障	最高 10万円まで

一人暮らしをされる方 学生賠償責任保険 一人暮らし特約あり 19HK 上記(19H)の保障すべてと一人暮らしをする上での住まいの火災などの保障 <引受保険会社:三井住友海上火災保険株式会社(幹事)>	●借家人賠償責任保障 被保険者の過失により、借用住宅が損壊し、貸主(大家)に対する法律上の賠償責任を負った場合を保障	1事故最高 1,000万円まで (示談交渉サービス付)	
	●家財保障	家財保障	1事故最高 200万円まで
		破損・汚損保障	1事故最高 50万円まで (免責金額1万円)
		家財・自転車盗難保障	1事故最高 50万円まで
	●修理費用保障	現金盗難保障	1敷地につき 10万円まで
		臨時費用	損害保険金の 10% (1事故1敷地ごとに最高20万円まで)
	●父母駆けつけ費用保障(救援者費用) ケガや病気のため、3日以上続けて入院した場合や、事故により生死が確認できない場合等に、親族が現地に駆けつけるために支出した交通費・宿泊費等を保障	借用住宅修理費用保障	1事故最高 15万円まで
水道管修理費用保障		1事故1敷地ごとに最高 10万円まで	
●父母駆けつけ費用保障(救援者費用) ケガや病気のため、3日以上続けて入院した場合や、事故により生死が確認できない場合等に、親族が現地に駆けつけるために支出した交通費・宿泊費等を保障		10万円まで	

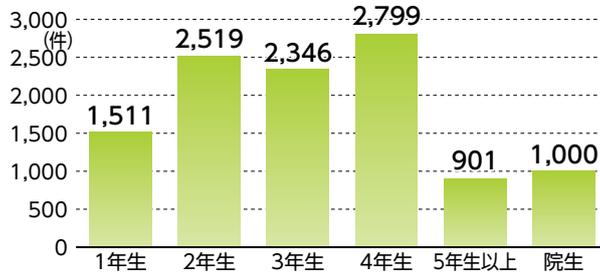
就学費用保障保険 19W <引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社(幹事)> 最大15口まで加入できます	●扶養者が病気やケガで死亡または、ケガで重度後遺障がいを負った結果、学生が扶養されなくなった場合の学資費用をサポート 大学に納付する授業料、実験・実習費など	(1口加入の場合) 1年間最高 25万円まで ※定期代・家賃は口数によらず合算で年間10万円まで
	●学生本人が後遺障害を負ったときの保障	(1口加入の場合) 1事故最高 10万円まで ※後遺障害の程度に応じて金額が決まります

●学生賠償責任保険(学生・子ども総合保険、施設・生産物賠償責任保険)および就学費用保障保険(学業費用補償特約(大学生等用)・疾病による学業費用補償特約(大学生等用)付帯総合生活保険)は、日本コープ共済生活協同組合連合会が保険契約者となる団体契約です。

2 学生の病気の傾向 (CO・OP学生総合共済)

病気の傾向 (こころの病とこころの早期対応保障を除く)

2023年度の支払件数は11,076件でした。



病気入院では、消化器系の疾患、呼吸器系の疾患、腫瘍(新生物)の原因で1,000件を超えています。具体的に見てみると、消化器系では①埋伏歯、②歯顎顔面(先天)異常[不正

咬合を含む]、③急性虫垂炎の順、呼吸器系では①気胸、②急性扁桃炎、③扁桃周囲膿瘍の順、腫瘍では女性特有の病気によるものが多くを占めています。

入院病気分類(こころの病を除く)

消化器系の疾患	3,383件
呼吸器系の疾患	1,932件
腫瘍(新生物)	1,150件
感染症	793件
神経・感覚器の障害	697件
損傷・中毒	591件
泌尿器・生殖器系の疾患	557件
筋肉・骨格・関節の障害	390件
症状・徴候・診断名不明	336件
循環器系の障害	232件
その他	1,015件
小計	11,076件

平均入院日数

7.2日

支払事例

【急性虫垂炎】

大学1年生
入院3日 手術1回
支払共済金 80,000円

【椎間板ヘルニア】

大学2年生
入院7日 手術1回
支払共済金 120,000円

【双極性障害】

大学2年生
入院59日
支払共済金 590,000円

こころの早期対応保障

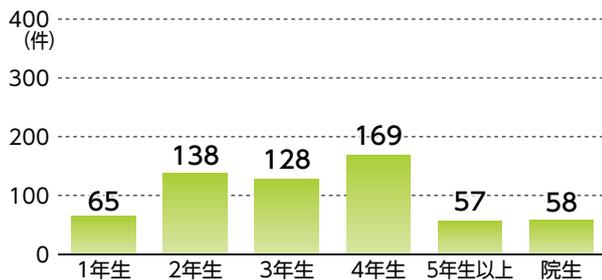
【双極性障害】

大学4年生
支払共済金 10,000円

病気の傾向 (こころの病とこころの早期対応保障)

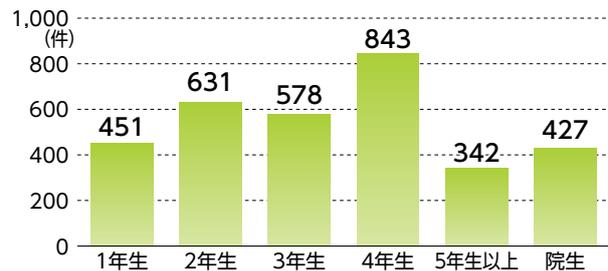
こころの病(精神障害)

2023年度の支払件数は615件でした。



こころの早期対応保障

2023年度の支払件数は3,272件でした。



こころの病での入院病気分類

うつ病エピソード	106件
アルコール使用飲酒による精神・行動の障害	99件
双極性情感障害<躁うつ病>	89件
統合失調症	62件
上記以外その他	259件
小計	615件

平均入院日数

33.5日

学生総合共済の病気の保障では、こころの病(精神的な病気)の保障があります。

こちらの病気での入院期間は他の病気と比べて長期になりがちです。例年4年生が他の学年と比べて多くなっています。就職、卒業論文など大学生を送る上でストレスがかかりやすく

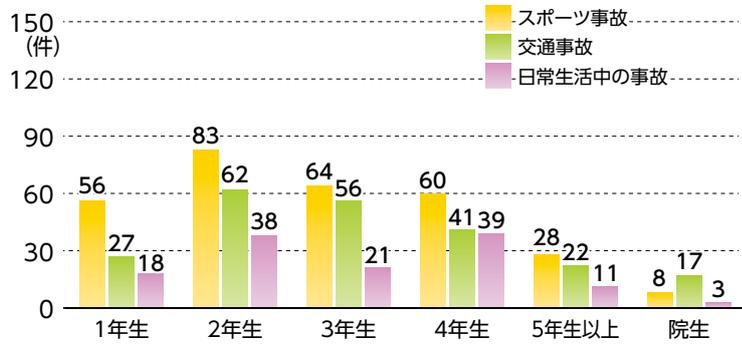
なっているものと思われます。

こころの早期対応保障はこころの病で通院した学生に、共済期間(1年)につき1回定額でのお支払いを行っています。重篤化する前に早期の治療を行ってもらえるようにとの保障内容です。

3 学生のケガと死亡の傾向 (CO・OP学生総合共済)

事故種別によるケガ入院の傾向

2023年度の支払件数は5,360件でした。(感染症※による事故入院件数も含んだ件数です)



スポーツ事故では激しく動きながら相手と接触を伴うスポーツのケガが毎年上位を占めています。交通事故においては自転車事故が最も多く、自転車単独事故47件、他の車両との衝突33件などの事故が発生しています。事故防止のため学内で自転車点検や、安全運転に関する取り組みを行っている大学生協もあります。

※この5,360件には2023年5月まで保障対象としていた感染症による支払件数が含まれています。こちらは2024年9月末現在の学生総合共済の保障内容とは異なります。

競技名	支払件数	平均入院日数
サッカー・フットサル	56件	8.0日
ラグビー	28件	7.1日
アメリカンフットボール	21件	11.0日
バスケットボール	20件	6.3日
野球	18件	9.1日
スキー	18件	12.0日
スノーボード	18件	24.8日
柔道	14件	7.1日
バレーボール	13件	15.0日
スポーツ名不明	9件	5.1日
陸上競技/ハンドボール	8件	11.5日/5.9日
その他の競技	76件	—

支払事例

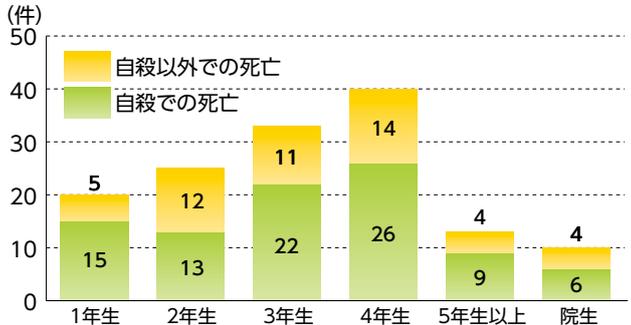
【自転車運転中の事故】
 大学1年生
 通院6日
 支払共済金 12,000円
 通学途中、道路上で強風により自転車から転倒してケガをした。

【日常生活上の事故】
 大学4年生
 通院28日 固定具保障
 支払共済金 76,000円
 昼食の支度中に、ガスコンロから鍋が落ちて熱湯をかぶりその際滑ってしまいやけどと骨折となった。

事由	支払件数	平均入院日数
自転車運転中	85件	12.6日
自動二輪運転中	63件	17.0日
原付運転中	25件	12.7日
自動車運転中	18件	11.1日
自動車同乗中	15件	23.1日
その他	19件	—

学生本人の死亡の傾向

死亡 (原因内訳) 学年別



死亡原因	支払件数	割合
自殺	91件	64.5%
病気及び病気とみられる事由	26件	18.4%
原因不明及び事故	24件	17.0%
支払件数合計	141件	100.0%

痛ましい事例ですが、学生総合共済における学生本人の死亡で自殺は最も多い事由となっています。なお厚生労働省発行の自殺対策白書※でも、「特に「15～19歳」、「20～24歳」及び「25～29歳」の年齢階級では死因の半数以上が「自殺」によるものであった」の記述があり、学生総合共済における傾向と一致しています。

学生のさまざまな悩みのサポートとして、学生総合共済では学生生活無料健康相談テレホンを設置しています。加入者に加え、保護者の方も利用できるサービスで、24時間365日多くの方からの悩みや質問にお答えしています。(p.9～p.12参照)

※厚生労働省 令和5年版自殺対策白書 第1章自殺の現状 2人口動態統計でみた自殺者数の年次推移 <https://www.mhlw.go.jp/content/r5hs-1-1-02.pdf>

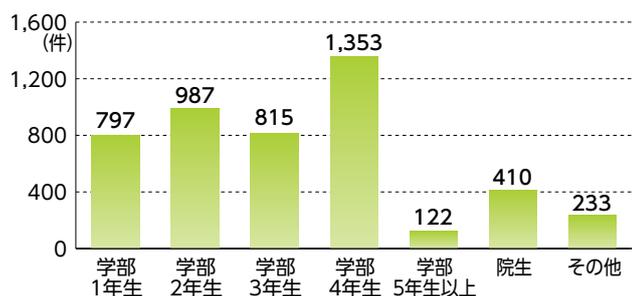
4 学生の賠償事故全体の傾向 (学生賠償責任保険)

事故分類による賠償事故の傾向

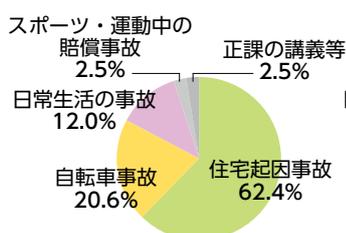
事故分類	支払件数(割合)		支払保険金(割合)		平均支払保険金
住宅起因事故	2,946件	62.4%	412,547千円	50.8%	140千円
自転車事故	972件	20.6%	273,940千円	33.7%	282千円
日常生活の事故	564件	12.0%	64,494千円	7.9%	114千円
スポーツ・運動中の賠償事故	119件	2.5%	40,024千円	4.9%	336千円
正課の講義等	116件	2.5%	21,846千円	2.7%	188千円
合計	4,717件	100.0%	812,851千円	100.0%	172千円

注) 父母駆けつけ費用と本人死亡・後遺障害の件数は除いています。

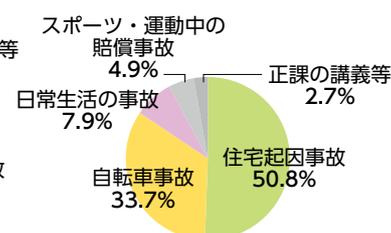
事故発生学年



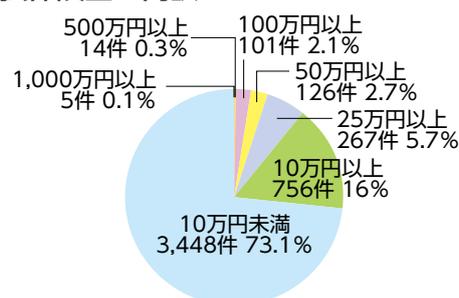
事故分類別割合



事故支払保険金割合



支払保険金の内訳



対象別支払割合					
区分	件数(割合)		金額(割合)		平均支払保険金
対人	271件	5.7%	146,296千円	18.0%	540千円
対人・対物	232件	4.9%	53,710千円	6.6%	232千円
対物	3,053件	64.7%	393,340千円	48.4%	129千円
分類不能	1,161件	24.6%	219,506千円	27.0%	189千円
合計	4,717件	100.0%	812,852千円	100.0%	172千円

学生賠償責任保険は、他人の身体や持ち物に対する賠償事故を保障する保険です。一人暮らし特約ありでは大家さんへの賠償、借用住宅内での家財の保障もついています。学生賠償責任保険の支払では、全体としては10万円以下の保険金支払いの割合が7割を超えています。

ます。なお500万円以上の高額な支払い19件の内訳は、住宅起因事故9件(うち水もれ事故が6件)、自転車事故7件、スポーツ2件、日常生活1件でした。

支払事例

【日常生活の事故】

大学2年生
支払保険金 1,391,570円
地下鉄でエスカレータで降りている際、スーツケースが転がり相手の足の上に落ちて、ケガをさせてしまった。

【住宅起因事故】(盗難事故)

大学3年生
支払保険金 175,780円
借用住宅敷地内の駐輪場で施錠して停めていた自転車が盗まれた。

【自転車事故】

大学1年生
支払保険金 1,597,915円
信号のある交差点を自転車で右折した際、バイクと出会い頭に衝突し、ケガをさせ損害も与えた。

【正課の講義等における事故】 (インターンシップ中の事故)

学部生その他 支払保険金381,264円
インターンシップ先で養生ボードを運んでいる際、駐車中の車に接触して損害を与えてしまった。

【スポーツ中の事故】

学部3年生
支払保険金 286,000円
バーベルでトレーニング中、バーベルを落とし鏡を破損した。

【正課の講義等における事故】

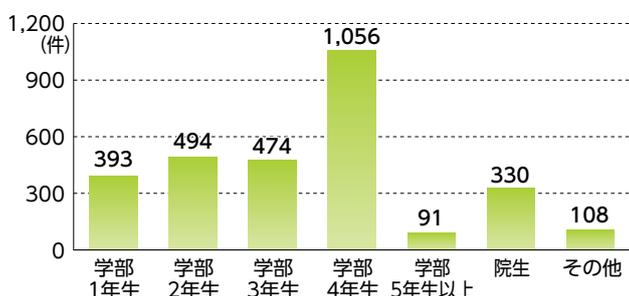
院生
支払保険金 216,810円
研究室で実験のため使用していたパソコン(大学の備品)に水をこぼして、破損させてしまった。

5 学生の住まいの賠償事故の傾向 (学生賠償責任保険)

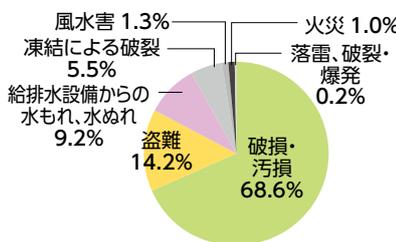
事故分類による賠償事故の傾向

事故分類	支払件数(割合)		支払保険金(割合)		平均支払保険金
破損・汚損	2,020件	68.6%	140,416千円	34.0%	70千円
盗難	419件	14.2%	22,775千円	5.5%	54千円
給排水設備からの水もれ、水ぬれ	271件	9.2%	148,398千円	36.1%	548千円
凍結による破裂	163件	5.5%	53,765千円	13.0%	330千円
風水害	39件	1.3%	17,657千円	4.3%	453千円
火災	28件	1.0%	29,069千円	7.0%	1,038千円
落雷、破裂・爆発	6件	0.2%	466千円	0.1%	78千円
合計	2,946件	100.0%	412,547千円	100.0%	140千円

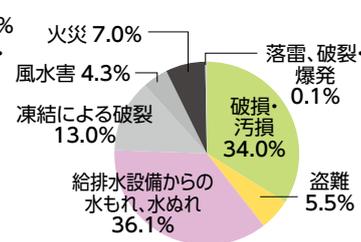
事故発生学年



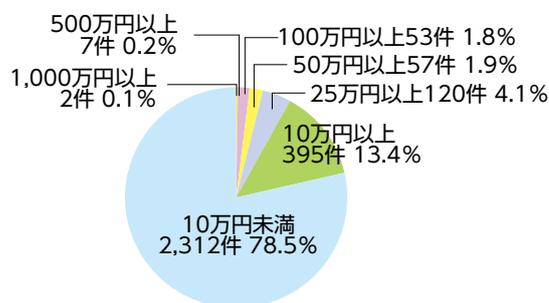
事故分類別割合



事故支払保険金割合



支払保険金の内訳



学生賠償責任保険(一人暮らし特約あり)は住宅にかかわる様々なリスクにそなえた保険です。火災、落雷、水もれによる損害に加え、被保険者の過失による損害、盗難など第三者による損害を保障しています。住宅起因事故の中では破損・汚損の割合が一番多く、住宅起因事故の中で6割強を占めています。この破損・汚損は全賠償事故の約4割を占めて、一番多い事由となっています。

2023年度の集計データでは4年生が他の学年と比べて多くなっています。退去時に破損・汚損が発覚するケースが多いためとみられます。

給排水設備の水もれや火災は全体の比率からは高いとは言えませんが、被害が多額・広範囲に及ぶことから高額な保険金支払いになることもあります。

支払事例

【住宅内の破損・汚損事故】

大学3年生
支払保険金 547,800円
借用住宅の玄関ドアに傘を挟んで、ドアを破損させてしまった。

【住宅内の破損・汚損事故】

大学3年生
支払保険金 278,740円
化粧水の瓶を落として、借用住宅の洗面台を割ってしまった。

【落雷事故】

大学4年生
支払保険金 119,805円
落雷によりテレビとレコーダーが破損してしまった。

【凍結による破裂事故】

大学4年生
支払保険金 91,619円
借用住宅の水道管が凍結・破裂してしまった。

【火災事故】

大学1年生
支払保険金 1,276,000円
キッチンで調理中に火災を起こして、キッチンが破損し消火活動で家財も破損させてしまった。

【水もれ事故】

大学2年生
支払保険金 1,590,171円
水抜き栓の操作を誤って配管から水もれし、自室内および家財に水ぬれ損害を与えてしまった。

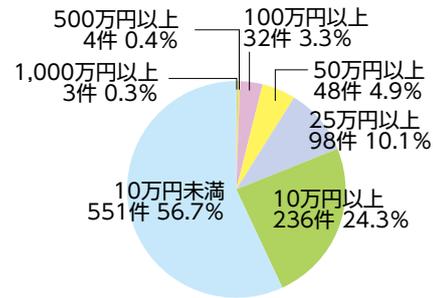
6

学生の自転車による賠償事故の傾向 (学生賠償責任保険)

自転車事故の事由

自転車事故の事由	件数
交差点(十字路・T字路・Y字路)内の事故	365件
その他道路上の事故	256件
歩道上の事故	194件
駐輪・駐車場等の事故	61件
横断歩道上の事故	54件
その他	42件
合計	972件

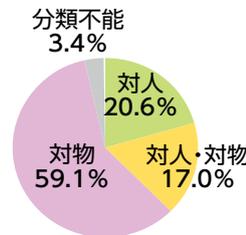
支払保険金の内訳



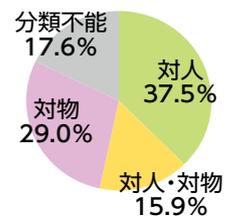
対象別支払割合

区分	件数 (割合)		金額 (割合)		平均支払保険金
	件数	割合	金額	割合	
対人	200件	20.6%	102,631千円	37.5%	513千円
対人・対物	165件	17.0%	43,577千円	15.9%	264千円
対物	574件	59.1%	79,581千円	29.0%	139千円
分類不能	33件	3.4%	48,281千円	17.6%	1,463千円
合計	972件	100.0%	274,070千円	100.0%	282千円

支払件数割合



支払保険金割合



手軽で便利な自転車は、学生の身近な移動手段として幅広く利用されています。

しかし、たとえ注意を払っていたとしても相手側と接触事故が起きることがあります。支払金額1,000万円以上の事故は全て学生側が自転車走行中に他人、または他人の自転車との衝突によるものです。

近年自治体で自転車保険の加入が努力義務または義務化される

ケースが増えています。学生総合共済と学生賠償責任保険の両方の加入でもしもの時に自身のケガと他人への賠償にそなえることができます。

また、自転車点検や安全運転の呼びかけなどの事故防止に向けた活動が多く、生協で行われています。

学生賠償責任保険における示談交渉サービスの利用状況について

示談交渉サービスとは、学生賠償責任保険の被保険者(加入学生)が加害者になってしまったとき、相手方および被保険者の同意を得られた場合、被保険者に代わって保険会社が加害者と折衝し解決するサービスです。例年自転車事故で利用者が多く、2023年度は7割近くの方が利用しています。

示談交渉サービスは、交渉をスムーズに行うことで被害者救済が遅延することがないように、また、学生の負担を軽減し、事故を起こしても勉学研究への影響をできるだけ抑えることを目的に付帯しているサービスです。

示談交渉サービス利用状況

事故分類	利用あり	利用なし	合計	利用率
自転車事故	666件	306件	972件	68.5%
住宅起因事故(破損・汚損)	61件	1,959件	2,020件	3.0%
住宅起因事故(水もれ事故)	55件	216件	271件	20.3%
スポーツ運動中の事故	44件	75件	119件	37.0%
授業・研修・実習中の事故	8件	108件	116件	6.9%
その他の事故	110件	1,597件	1,707件	6.4%
合計	944件	4,261件	5,205件	18.1%

7 父母・扶養者に関する保障 (CO・OP学生総合共済 就学費用保障保険)

親扶養者死亡保障における共済金の支払状況(CO・OP学生総合共済)

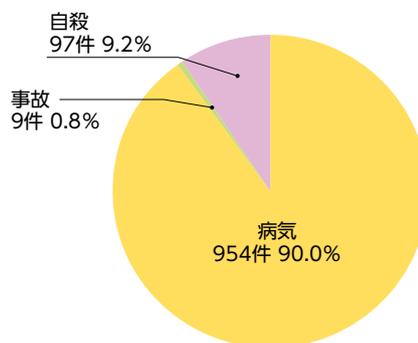
親扶養者死亡保障は、学生の親や扶養者(父母以外の方でも扶養者登録をされた方)が亡くなられた際に、50万円の共済金をお支払いする保障です。

また病気・事故を問わず親・扶養者が重度障害になった場合の保障もあります。

扶養者の事故死亡または事故による重度障害で、500万円の保障もあります。こうした保障でもしもの際の学生の学業継続を経済面から支えています。

死亡原因	支払件数	件数割合	支払共済金
病気	954件	90.0%	468,260千円
事故	9件	0.8%	4,500千円
自殺	97件	9.2%	48,500千円
合計	1,060件	100.0%	521,260千円

共済金の支払件数割合



就学費用保障保険の保険金支払状況

就学費用保障保険は扶養者が病気やケガで死亡、またはケガで重度後遺障がいを負った結果、学生が扶養されなくなった場合の学資費用をサポートする保険です。通学期代や一人暮らしの家賃も保障対象です。

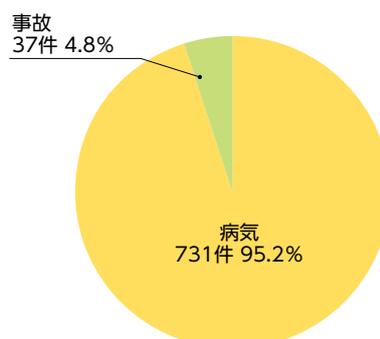
大学・学部ごとの授業料に合わせ、1口から15口まで加入口数を設定することができます。

経済的に学生本人を支えておられる扶養者のもしもにそなえる保障として、学生総合共済ともにご案内している保険です。

事由別	支払件数	構成比	支払保険金合計	構成比	支払保険金平均
病気	731件	95.2%	217,208千円	94.8%	297千円
事故	37件	4.8%	11,897千円	5.2%	322千円
合計	768件	100.0%	229,105千円	100.0%	298千円

注)学生本人がケガで後遺障害を負った場合の支払件数、支払保険金は除いています。

保険金の支払件数割合



8

学生生活無料健康相談テレホン(からだの健康相談)

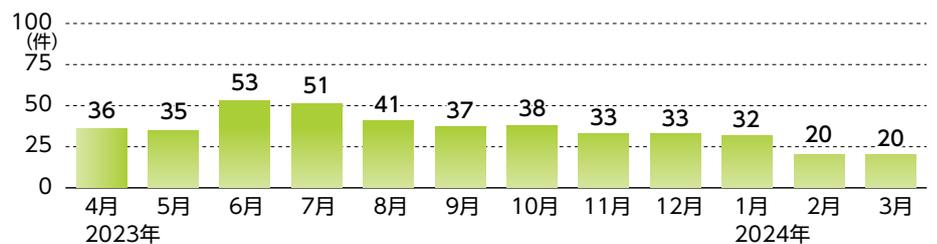
相談の傾向 (総件数:429件 うち新規利用:292件、再利用:90件、不明47件。ドクター利用件数:5件)

相談内容	件数	割合	学年別件数					
			1年	2年	3年	4年	大学院	その他
病気、ケガ等の疑問や不安(日常的な範囲)	161件	37.5%	40件	36件	39件	35件	9件	2件
病気、ケガ等の疑問や不安(受診中・受診後)	98件	22.8%	15件	16件	19件	36件	9件	3件
医療機関、施設等の案内	39件	9.1%	18件	7件	8件	4件	2件	0件
共済に関する問い合わせ	32件	7.5%	4件	1件	3件	1件	0件	23件
心の悩み(身体的症状を伴う心の相談:不安、不眠、等)	11件	2.6%	1件	0件	1件	2件	0件	7件
性に関すること	9件	2.1%	3件	1件	2件	1件	2件	0件
食生活および健康づくり	8件	1.9%	1件	3件	3件	0件	1件	0件
その他	71件	16.6%	0件	3件	4件	0件	1件	63件
合計	429件	100%	82件	67件	79件	79件	24件	98件

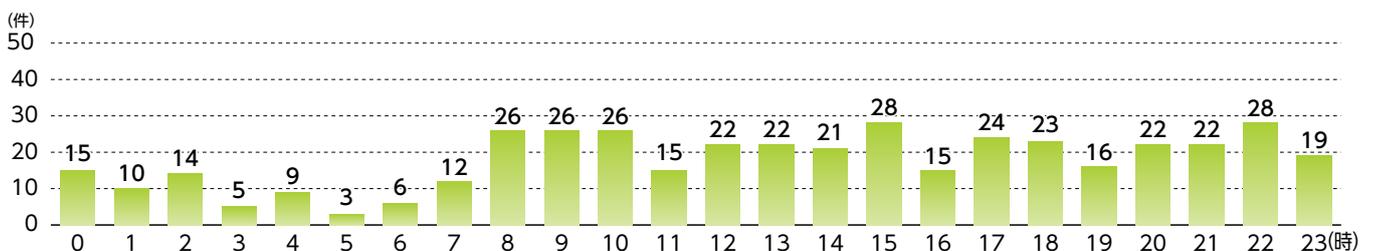
続柄別	件数	割合
本人	234件	54.5%
親	172件	40.1%
その他	23件	5.4%
合計	429件	100.0%

住居状況	件数	割合
一人暮らし	246件	57.3%
家族と同居	90件	21.0%
その他	93件	21.7%
合計	429件	100.0%

月別相談件数



時間帯別相談件数



《全体の動き》

23年度の総件数は429件で、22年度比123件減でした。

例年夏場にかけて相談件数が多く、1月や2月は減る傾向がありますが23年度も同様の傾向が見られます。

相談内容では「病気、ケガ等の疑問や不安」が計259件で、22年同様半数以上を占めています。

《相談者の利用状況》

23年度は22年度と比べ1,2年生の全体での利用比率が低下し、3,4年生が増加、院生はほぼ変動なしでした。

一人暮らしの利用から、身近にすぐに聞ける人がいない状況や、子どもが一人暮らしで見て様子を確認できなかったり子どもの居住地の状況が分からなかったりするなどで不安感が高まり、一人暮らしの方の利用比率が高いと予測されます。

《相談内容》

最も多い「病気、ケガ等の疑問や不安」では学生本人から、発熱や吐き気・嘔吐、下痢、腕や脚・腰などの痛み、めまい、不眠、うつ病や適応障害、歯科治療に関すること、婦人科系のことなど、多岐にわたる相談がありました。

学年別に見る相談内容はおおむね全学年で同じ傾向を示していますが、1年生は他の学年に比べて「医療機関、施設等の案内」の件数が多いです。入学直後で、一人暮らしを始めている方が多いためと予測されます。

学生総合共済加入者のための安心サポートとして、「学生生活無料健康相談テレホン」を設置しています。これは加入者(学生)だけでなく、保護者もご利用いただいています。からだの健康相談では、健康状態に関する悩みに専門の相談員が答えます。対面では相談しにくい内容でも、時間帯を問わず安心して利用可能です。

相談事例 (※個人が特定される可能性のある相談について、一部修正を加えている事例もあります)

<病気、ケガ等の疑問や不安>

病院で気胸と診断され入院となった。退院後、医師より肺のまわりの痛みはしばらく続く、何か変わったことがあれば近所の病院にかかるように言われた。今でも痛みがあり、夜間は不安だがこのまま様子見でよいか。

(3年 21歳)

一緒にドライブで行った友人が、インフルエンザに感染したことがわかった。自分も発熱があったが、今朝は36.6℃で他症状は特にない。インフルエンザの検査は必要か。本日は2限目から授業があるが、出席可能か。

(2年 19歳)

<医療機関、施設等の案内>

娘からの連絡があり、喉の痛みと頭痛と寒気があり、つらいようだ。救急車を呼んだ方がよいか、タクシーで受診させた方がよいか。また今すぐ受診させる場合はどこに受診か。

(1年 19歳の母親)

3日前から原因不明のかゆみを伴う湿疹が手足に出ていた。今日から唇の腫れもひどく、痛みもある。引越したばかりで場所がわからず、受診先を教えてください。

(1年 18歳)

<性に関すること>

パートナーと性行為をした。コンドームを装着していたが、ズレてしまっていた。妊娠の危険性はあるか。どう対応すればよいか。

(3年 21歳)

<健康づくり(食生活、運動、健診、予防接種)>

3か月後にアジアのある国に1ヵ月間滞在する予定。破傷風、コレラなどの4種類のワクチンを接種したいと思っているが出国までに間に合うか。この国への渡航ではそれらのワクチンを接種する必要はあるか。

(3年 21歳)

8 学生生活無料健康相談テレホン(こころの健康相談)

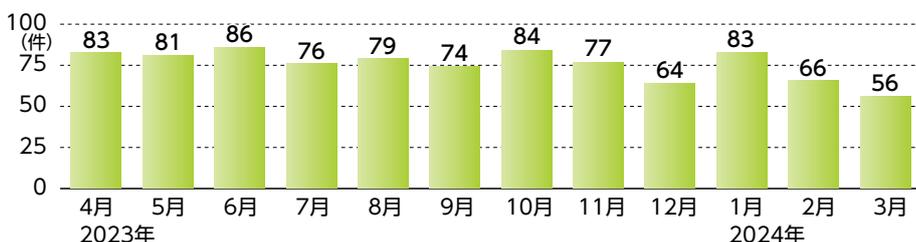
相談の傾向 (総件数:909件 うち新規利用:193件、再利用:669件、不明47件)

こころの相談主訴分類	件数	割合	学年別件数					
			1年	2年	3年	4年	大学院	その他
精神症状	327件	36.0%	32件	41件	59件	144件	26件	25件
学業の問題(進路等含む)	219件	24.1%	19件	15件	25件	67件	20件	73件
人間関係	217件	23.9%	30件	18件	72件	72件	23件	2件
身体症状	34件	3.7%	3件	10件	9件	12件	0件	0件
その他	112件	12.3%	16件	12件	15件	16件	3件	50件
合計	909件	100%	100件	96件	180件	311件	72件	150件

続柄別	件数	割合
本人	761件	83.7%
親	144件	15.8%
その他	4件	0.4%
合計	909件	100.0%

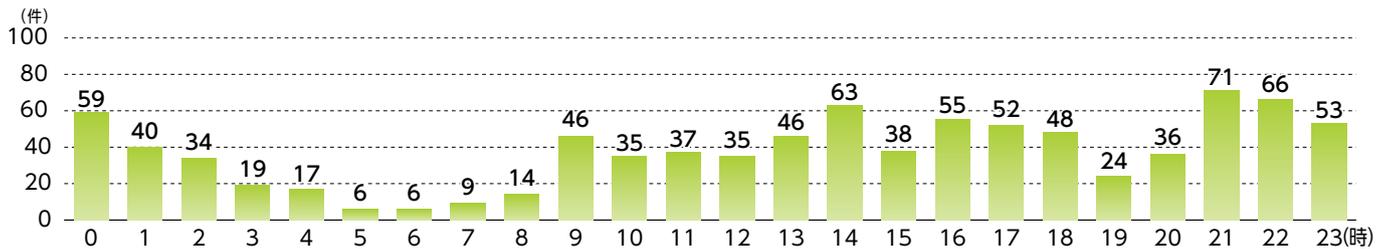
住居状況	件数	割合
一人暮らし	431件	47.4%
家族と同居	419件	46.1%
その他	59件	6.5%
合計	909件	100.0%

月別相談件数



こころの健康相談では、臨床心理士などの専門カウンセラーがじっくり悩みを受け止めます。メンタルヘルスの相談は、1回の電話では解決に結びつかないこともあり、再利用の多さにつながっています。

時間帯別相談件数



相談者の状態(複数回答あり)		件数	今年度割合
身体症状	不眠	44件	29.1%
	疲労・倦怠・脱力感	38件	25.2%
	食欲不振	12件	7.9%
	動悸・息切れ	8件	5.3%
	吐き気	4件	2.6%
	腹痛	4件	2.6%
	頭痛	4件	2.6%
	その他	37件	24.5%
	合計	151件	100.0%
	精神症状	不安	164件
抑うつ症状		83件	21.3%
意欲の低下		55件	14.1%
イライラ		37件	9.5%
自殺観念		21件	5.4%
緊張		15件	3.9%
その他		14件	3.6%
合計		389件	100.0%

相談者の状態(複数回答あり)		件数	今年度割合
現在の状態	日常生活に影響	55件	29.9%
	学業に影響	42件	22.8%
	登校できない	23件	12.5%
	自殺未遂(観念)	15件	8.2%
	外出できない(ひきこもり)	6件	3.3%
	過食・拒食	6件	3.3%
	リストカット	3件	1.6%
	学力の低下	2件	1.1%
	依存症(アルコール・ギャンブル・買い物)	1件	0.5%
	その他	31件	16.8%
	合計	184件	100.0%

《全体の動き》

22年度と比べると23年度は211減で、複数回利用も減少傾向ですが、頻回相談者もいらっしゃる状況です。

月による大きな変動もありません。

《相談者の利用状況》

23年度は1年生からの相談が100件と、22年度の59件から大きく上回りました。

深夜の利用が多い状況は例年と変わりありません。またこの時間帯の利用者は不眠傾向にある症状が見られる方もいます。

《相談内容》

1年生は、人間関係で悩んでいる相談者が23年度で増加傾向にありました。

23年度の1年生は、高校時代ほぼ新型コロナウイルス感染期で過ごした時期となり、通常生活に戻りつつある中で新しい環境・戻りゆく日常生活についていけず、親子ともに関係づくりに悩まれているようです。

3, 4年生では就職先に悩む相談者や、インターン等で早期内定をとってしまったがゆえに燃え尽き症候群(無気力)に陥り、当初抱いていた目的や目標を見失う相談者もいました。

相談事例 (※個人が特定される可能性のある相談について、一部修正を加えている事例もあります)

<精神症状の悩み>

数か月入院していた。現在は休学中で来年4月に復学予定。私は医師からゆっくりするようにと言われて、泳いだりカラオケに行ったりしている。その時は気がまぎれて楽しいが、夜になると落ち込んで泣いてしまうこともある。(4年 21歳)

なんのために生きているのかわからない。日々課題に追われている中で、これを頑張って何になるのか、頑張った先に何があるのだろうかということを考えるようになってしまった。情緒が不安定である頻度が多くなっている。(1年 18歳)

<学業の問題(進路等含む)>

必修のゼミを落としてしまい、これから始まる後期に1学年下の学生の中に入ってゼミを受けなければならなくなった。そのことでひきめを感じてしまう。(4年 22歳)

幼稚園の先生になりたいくて今の大学に入った。2回目の実習が終わったが、実習がうまくいかず、幼稚園の先生になれるのか不安になってしまった。(2年 19歳)

<人間関係の悩み>

ある人に対し一緒にいるのが気持ち悪くなり、良くない態度を取ってしまった。他の人達も話しかけてくるのだが、話すことがないし、どう対応してよかわからない。被害妄想で馬鹿にされているのではないかと思ってしまう。そもそも人間関係の構築方法がわからない。(1年 19歳)

大学内に気を許せる友達がない。昔の友達と会いたいと思っても、過去にもめたことがあるからか、なかなかLINEが返って来ない。そうすると承認欲求が満たされなくなってつらくなってしまふ。(3年 22歳)

8

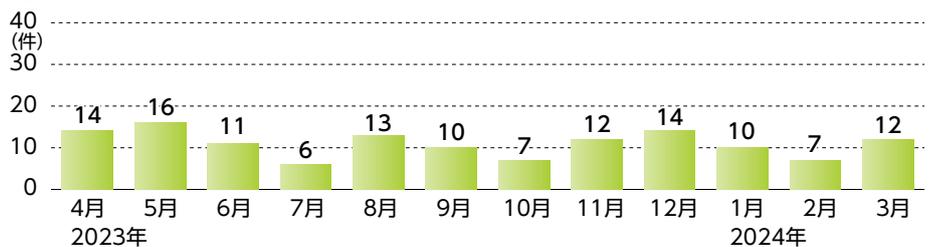
学生生活無料健康相談テレホン(くらしの相談)

相談の傾向 (総件数132件)

相談内容	件数	割合	学年別件数					
			1年	2年	3年	4年	大学院	その他・不明
水まわり	28件	21.2%	6件	2件	2件	1件	件	17件
カギ	21件	15.9%	2件	2件	1件	2件	1件	13件
対人関係・トラブル	19件	14.4%	1件	1件	2件	4件	件	11件
生協・大学	11件	8.3%	件	件	件	1件	件	10件
建物・室内設備	10件	7.6%	1件	1件	件	1件	件	7件
病院案内	10件	7.6%	1件	2件	件	1件	件	6件
購入・契約トラブル	5件	3.8%	件	件	1件	件	件	4件
	件	0.0%	件	件	件	件	件	件
上記以外その他の問い合わせ	28件	21.2%	1件	1件	1件	1件	件	24件
合計	132件	100%	12件	9件	7件	11件	1件	92件

続柄別	件数	割合
本人	76件	57.6%
親	56件	42.4%
合計	132件	100.0%

月別相談件数



《全体の動き》

全体の件数は132件と、22年度に比べ43件減少しました。

対面授業再開から2年が経過し、学生の生活も少しずつ落ち着きを取り戻しつつあるためかと思われます。一方で、例年であれば3月～6月までの新生活シーズンに相談が集中する傾向がありますが、23年度は、通年を通して相談がありました。

《相談者の利用状況》

例年は1年生の利用が多くなる傾向がありますが、23年度は4年生の相談件数が1年生とほぼ同じでした。

《相談者内容》

鍵や水まわりなど、生活に密着したご相談が最も多く、全体の37%を占めています。

水まわりや鍵の紛失といったトラブルについては、学生生活110番の会員であれば条件に合うケースで修理代が無料となります。ご相談内容を確認した上で対応しています。

また、対人関係や各種トラブルのご相談も寄せられており、内容をお聞きした上で、適切な相談窓口をご案内しています。

相談事例紹介 (※個人が特定される可能性のある相談について、一部修正を加えている事例もあります)

<水回り>

トイレと浴室の排水が詰まり、直してほしい。

(1年生)

<カギ>

アパートの鍵を紛失したため、開けてほしい。

(2年生)

<対人関係・トラブル>

商品を購入したが、マルチ商法ではないか不安。

(親より)

<生協・大学>

学生総合共済・保険の保障内容について聞きたい。

(学年不詳)

<建物・室内設備>

アパートの外の騒音がストレスなので、相談したい。

(親より)

<病院案内>

体調が悪くなったので、近所の病院を教えてください。

(学年不詳)

9 大学生協の保障制度 支払一覧

全国の共済・保険加入者のおかげで、2023年度は約6万2千件、約48億4千万円の共済金・保険金をおくることができました。CO・OP学生総合共済ではケガや病気をした学生へ、経済的なささえとなる共済金をできるだけお早めにお届けし、またこの共済金とともに「たすけあい」の気持ちをお届けしています。

大学生協の保障制度加入者数(2024年3月20日)	
学生総合共済	771,147人
火災共済 ^{※1}	2,845人
学生賠償責任保険	702,661人
就学費用保障保険	302,893人

※1 火災共済は2019年4月1日より新規募集を行っておりません。

共済金・保険金支払事由区分		件数	金額
注：事由の後に()のないものは、学生総合共済での支払いによるものです。			
学生本人	病気入院	11,691件	100,071万円
	病気長期入院	5件	300万円
	病気手術	7,576件	37,640万円
	病気重度障害	5件	3,000万円
	事故入院 ^{※2}	5,360件	52,065万円
	事故長期入院	2件	120万円
	事故手術	2,322件	11,606万円
	事故通院 ^{※2}	24,848件	69,116万円
	事故後遺障害	37件	3,996万円
	学業復帰支援臨時費用	1件	100万円
	こころの早期対応保障	3,272件	3,272万円
	死亡	141件	14,100万円
	事故死亡	13件	650万円
	ケガによる死亡・後遺障害(学生賠償責任保険・就学費用保障保険)	40件	108万円
	針刺し・ウイルス感染予防(学生賠償責任保険)	9件	10万円
小計	55,322件	296,154万円	
父母・扶養者	親扶養者死亡	1,060件	52,126万円
	親扶養者重度障害	42件	2,070万円
	扶養者事故死亡	43件	21,500万円
	扶養者事故重度障害	12件	6,000万円
	学資費用(就学費用保障保険)	768件	22,910万円
小計	1,925件	104,606万円	
自宅外生	住宅起因事故(学生賠償責任保険)	2,946件	41,254万円
他人に対して	自転車事故(学生賠償責任保険)	972件	27,394万円
	日常生活の事故(学生賠償責任保険)	564件	6,449万円
	スポーツ・運動中の事故(学生賠償責任保険)	119件	4,002万円
	正課の講義等(学生賠償責任保険)	107件	2,174万円
父母・救援者へ	父母駆けつけ費用(学生賠償責任保険)	465件	2,079万円
合計	62,420件	484,112万円	

※2 2023年5月7日まで保障対象であった学生本人の新型コロナウイルス感染症の共済金お支払いはこの事故入院や事故通院に入っています。

●金額は千円以下を切り捨てています。

●学生総合共済加入者には、加入者全員対象の“ストーカー被害見舞金”1件あたり定額5万円があります。2023年度は28件 計140万円のお見舞金をお支払いしました。

●また、異常災害見舞金として58件 計138万円をお支払いしています。

10 加入者数と支払件数の推移

学生総合共済は1981年の発足以来、ケガや病気で困っている学生や親扶養者を亡くして経済的に困難に陥った学生に共済金の支払いができるよう組合員の声をもとに制度の改善をすすめてきました。また共済に加入していなかったためにケガや病気にあつた際に共済金のお支払いができない学生をなくしたいとの想いから全ての学

生・院生に加入をすすめることを大切にしています。

学生総合共済開始時に約3万人であった加入者は、現在約77万3千人※1（2024年3月時点）へとたすけあいの大きな輪が広がっています。

※1 学生総合共済、火災共済、学生総合共済 新社会人コースの合計です。

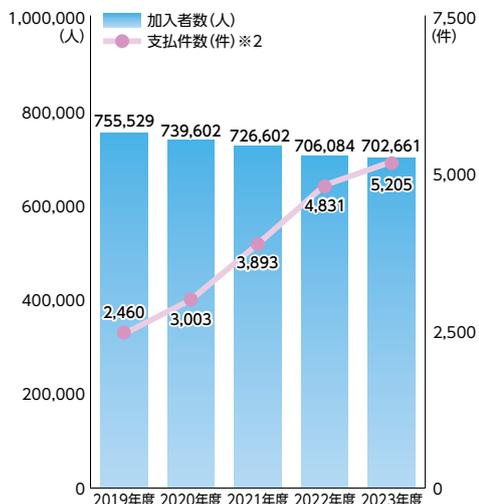
学生総合共済



- 2019年度から2021年度・・・加入者数は各年の9月末の数字です。支払件数は各年4月～翌3月末です。
- 2022年度以降・・・加入者数は各年度末の3月20日時点の数字です。支払件数は、各年3月21日～翌3月20日です。
- 2022年度の支払件数急増は、当時お支払い対象としていた新型コロナウイルス感染症によるものです。
- 2022年度より新社会人コースの加入者数を含んでいます。
- 火災共済の加入者数、支払件数は含まれておりません。

保険の加入者数と支払件数の推移

学生賠償責任保険



就学費用保障保険



- 2019年度から2021年度・・・加入者数は各年の9月末の数字です。支払件数は各年4月～翌3月末です。
- 2022年度以降・・・加入者数は各年度末の3月20日時点の数字です。支払件数は各年4月～翌3月末です。
- ※2 学生賠償責任保険の支払件数には、父母駆けつけ費用と学生本人死亡・ケガによる後遺障害の件数が含まれています。
- ※3 就学費用保障保険の支払件数には、学生のケガによる後遺障害の件数が含まれています。

11 共済金の支払いを受けた学生の声

病気

【細菌性腸炎】

大学2年生 入院5日
支払共済金 50,000円

先輩や後輩と食事をした翌日に発症。
食べたものの中に細菌がいたらしい。

これまでの人生、大きな病気をしなかった自分が、なんの前ぶれもなく入院することになりました。「とりあえず」加入しておいた共済が、決して裕福ではない我が家の家計を助けてくれました。万が一、は備えておくべきであるということを再認識してほしいです。本当に助かりました。

病気

【急性副鼻腔炎】

大学1年生 入院6日
支払共済金 60,000円

急に顔面が痛くなり、内科、耳鼻科などにかかった。

大学に入り共済に入るか迷いましたが、まさか自分が病気で1週間も入院することになるとは思っておらず、入っていて本当に良かったと思いました。ありがとうございました。

病気

【マイコプラズマ肺炎】

大学3年生 入院3日
支払共済金 30,000円

最初風邪かと思っていたが、CTやレントゲンで診断を受け判明した。

まさかの入院があることも踏まえて加入することは大きなことだと改めて感じました。

こころの早期対応保障

【統合失調症】

院生1年生
支払共済金 10,000円

多忙なスケジュールで過ごしていたとき、睡眠時間が上手にとれず、心のバランスを崩しました。

心の病気にも対応してくれることを知りませんでした。心の病は治療が長引きやすく、負担になるので、共済で支援いただけてすごたすかります。ありがとうございます。

こころの病

【うつ病】

大学4年生 入院42日
支払共済金 420,000円

家族とのお付き合いが悪く、大学生活も多忙で、実習に対する不安や就職採用試験へのプレッシャーなど様々なストレスが重なった。

皆さんが支えてくださったおかげで入院に対する負担がとてもしなくなり、退院後も安心して生活できています。入院というイレギュラーな出来事であっても心が軽く過ごせています。本当にありがとうございます。

自転車での事故

【両手足にケガ】

大学2年生 通院3日
支払共済金 6,000円

帰宅中、横断歩道を自転車で横断していたらタクシーにはねられ転倒しケガをした。

絶対、自分は大丈夫と思わないこと。そういう人に限って事故に遭います。本当にいつ事故に遭ってもおかしくないので、ポケっとせずに気をつけて移動しましょう。

スポーツ中の事故

【前十字靭帯断裂】

大学4年生 入院22日、通院24日、固定具保障
支払共済金 288,000円

ハンドボールの試合中、ジャンプ動作をしたところ右ひざがずれて前十字靭帯断裂となった。

支えてくださる皆さんのおかげで、金銭面に思い悩むことなく日々のリハビリや診察に通うことができています。ありがとうございます。

スポーツ中の事故

【膝関節脱臼、顆間隆起骨折、靭帯断裂】

大学4年生 入院14日、通院25日
支払共済金 190,000円

室内テニスの試合中に、飛んできたボールを打ち返そうと右足を踏み込んだ時に膝が内側に入りケガをした。

大きなケガを避けることは難しいが、共済に入っていることで、一部の金額をまかない治療をすることが出来た。今回の経験を経て、共済の大切さを感じた。

通学中の事故

【左足首捻挫、靭帯損傷】

大学1年生 通院6日、固定具保障
支払共済金 32,000円

電車通学のため駅のホーム階段を下りた際に、ひねって左足首をねんざし、靭帯を損傷した。

いつケガや病気・事故に遭うか分からないので、生協の共済に絶対加入するべきです。加入していたおかげで、金銭的にも本当に助かりました。これからも、本当に安心して学生生活を送れます。

お問い合わせ先

●CO・OP学生総合共済について

日本コープ共済生活協同組合連合会

<https://kyosai.univcoop.or.jp/>
CO・OP学生総合共済(大学生協組合員用)



●学生賠償責任保険、就学費用保障保険について

株式会社 大学生協保険サービス

<https://hoken.univcoop.or.jp/>

